

令和 6 年度 事業報告

公益財団法人 名護市観光協会

令和 6 年度事業の総括

令和 6 年の沖縄県入域観光客数は 966 万 8,800 人で、対前年比で 143 万 3,400 人増の率にして 117.4%の増加となった。これまで最多を記録した令和元年に対しては、95.1%の水準まで回復し過去 3 番目の記録となった。

国内客は、753 万 6,000 人で、対前年比 28 万 7,200 人増の率にして 104%の増加となった。台風等の大きな影響もなく、長期休暇期間中の旅行需要を見込んだ航空会社による増便や季節運航等の実績が好調に推移したことから増加となった。

外国人観光客については、213 万 2,800 人となり、対前年比 114 万 6,200 人増の率にして 116.2%の増加となった。要因としては、航空路線の再開・新規就航、クルーズ船機構回数の増加等により、コロナ禍前（令和元年）の水準に段階的に回復している。

令和 6 年の名護市入込客数についても、530 万 4,836 人となり、コロナ前の令和元年と比較すると 82%まで回復した状況となった。

国内客は、490 万 9,310 人となり、対前年比 97 万 3,650 人増の率にして 124%の増加、外国人観光客は、39 万 5,526 人となり、対前年比 10 万 3,955 人増の率にして 135%の増加となった。

名護市観光協会の事業として、毎年恒例の「名護市長杯争奪全島ハーリー大会」を開催し、180 チームのエントリーを目標としていたが 160 チームの参加となった。令和 5 年度と比較すると 9 チームの増加となり、無事に大会を終えることができた。今後の取り組みとして、企業団体への広報活動の強化や、当協会ホームページや SNS を活用した情報発信の充実を図る。

観光振興の施策では、市内事業者と連携し「観光客誘致プロモーション事業」として、3 つの事業を実施した。①観光事業者や市内事業者が自身で観光客誘致プロモーションを実践できるスキルを身につけることを目的に観光事業者向けのセミナーを開催した。②当協会のポータルサイトを再構築したことにより、観光客への情報発信や AI を活用した周遊プランの提供、人流データの分析情報や AI コンシェルジュ等から得られたデータ提供を行う仕組みを構築することにより、観光客の利便性向上、事業者の取り組みに活かせる情報発信を行った。③探求学習をベースとした「平和学習」「街なか散策」、「自然体験学習」、「教育旅行 2 泊 3 日行程」の動画を制作し、兵庫県で開催された修学旅行相談会の参加や大阪の旅行会社を回り、修学旅行の誘致活動を行った。

名護市をはじめ商工会・観光協会で連携を図りふるさと納税の県外での PR 強化に努めた。寄付額：令和 5 年度実績 533,210,000 円に対し令和 6 年度実績 810,506,100 円となり 277,296,100 円の増加となり率にして 152%の増加となった。

第 51 代名護さくらの女王選考会を行い 3 名が選出され、第 62 回名護さくら祭りのパ

レードでお披露目した。さくらの開花状況は 7 分咲きの発表となったが、祭り当日は天気にも恵まれ、目標の来場者数を 150,000 人と設定しており、二日間の来場者数 169,812 人と、目標値を上回る結果となった。

最後に、北部広域市町村圏事務組合を中心に地域連携型 DMO 設立に向けて準備にとりかかっており、北部地域観光協会・地域関係団体等と連携を図り北部地域の資源を最大限に活かしながら観光振興に取り組んで行く。

【会 議】

第 1 回理事会 【令和 6 年 5 月 30 日（木）15 時～ 名護市産業支援センター5 階会議室】

- ・令和 5 年度事業報告及び付属明細書の承認の件
- ・令和 5 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び付属明細書並びに財産目録の承認の件
- ・任期满了に伴う理事・監事候補者名簿承認の件
- ・理事長・副理事長・常務理事選定について
- ・評議員開催日及び場所並びに議案事項について

第 1 回評議員会 【令和 6 年 6 月 18 日（火）17 時～ 名護市産業支援センター5 階会議室】

- ・令和 5 年度事業報告及び付属明細書の承認の件
- ・令和 5 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び付属明細書並びに財産目録の承認の件
- ・理事選任承認の件
- ・監事選任の件

第 2 回理事会 【令和 6 年 8 月 27 日（木）15 時～名護市産業支援センター5 階会議室】

- ・名護さくらの女王（観光大使）に係る方針検討に伴う
外部委員会設置について

第 3 回理事会 【令和 6 年 12 月 12 日（木）15 時～ 名護アグリパーク】

- ・名護さくらの女王（観光大使）に係る方針について
- ・観光誘客プロモーション事業の進捗状況について

第 4 回理事会 【令和 7 年 3 月 27 日（木）15 時～ 名護市産業支援センター2 階会議室】

室】

- ・令和 7 年度事業計画（案）について
- ・令和 7 年度収支予算（案）について
- ・理事辞任の件

I 【公益目的事業】

1 観光宣伝誘客・情報提供事業

(1) 観光案内

国内外の観光客からの案内窓口や電話による問い合わせが徐々に増加しており、観光情報や地域情報について、パンフレットや市内マップ等で各種情報提供を行った。

（電話による問い合わせ状況）

年度	件数	増減件数 (対前年度比較)
令和 4 年度	746	26
令和 5 年度	925	179
令和 6 年度	1,180	255

(2) ホームページによる情報提供及び発信

ホームページによる市内の観光地・観光施設・宿泊施設等の情報・各種イベント情報を掲載し、プロ野球キャンプ・賛助会員の紹介等に努めた。

(3) 観光パンフレットの作成・配布

名護市観光ガイドブックや名護 GOGO マップを作成し、宿泊施設・観光施設や観光協会窓口等で配布を行った。

その他、北部広域市町村圏事務組合と連携した県外 PR にも活用した。

(4) ポスターの作成・配布・掲載

名護さくら祭りのポスター3,000 枚を作成し、県内外へ情報を発信した。

令和 7 年 1 月 17 日（金）、JAL/JTA セールスの日本全国 23 ヶ所の空港窓口へ、さくらの贈呈とポスターの配布を行い本部半島（名護・本部・今帰仁）三大さくら

祭りの PR を行った。

(5) 県内外宣伝PR活動

(ア) マスコミ関係者への取材協力

令和6年11月13日(水)、FM やんばると市外の FM ぎのわんへ、イベント(さくら祭り)のPRを行った。

県外の KBS 京都からラジオでの取材があり名護市の特産品やイベントのPRを行った。

(イ) 名護市親善大使の派遣

名護さくらの女王の活動として、昨年度48件に対し38件の行事等を行った。

また、北海道日本ハムファイターズ応援ツアーや友好都市(枚方市・八幡平市)の物産展等に参加し名護PRを行った。県内の活動として、名護夏祭りのオープニングセレモニーの運営補助や那覇空港での本部半島さくらの贈呈式等でPRを行った。

令和6年度において、令和5年度と比較し減少した主な要因として、令和5年度は単年度事業のイベントでの依頼があったことから、令和6年度はその差分減少したことによる。

(ウ) 観光キャラクター活用事業

名護市の公認キャラクター「名護親方」着ぐるみについては、名桜大学祭の交流イベントをはじめ名護警察署関連の事業等に使用していただき合計11件の利用があった。

(エ) 沖縄修学旅行説明会への参加

「令和6年度沖縄修学旅行相談会 in 兵庫」(令和6年12月19日)

名護市内への修学旅行誘致を目的として、沖縄観光コンベンションビューロー主催による沖縄修学旅行説明会に参加。名護市で実施できる探究学習や平和学習、自然体験学習、観光施設周遊など、市内で完結できる教育旅行プログラムの説明を行った。

出展団体数：18団体

相談会来場者数：64名

名護市ブース来場団体数及び人数：学校関係者(2団体3名)、旅行会社(7社9名)

(オ) 第 46 回名護市長杯争奪全島ハーリー大会 (令和 6 年 8 月 4 日)

「ハーリー甲子園」として別称される名護市長杯争奪全島ハーリー大会について、石垣市から 3 チーム・大阪府から 1 チーム・台湾から 3 チームのエントリーがあり、県内外・海外の皆様とハーリーを楽しみながら交流することができた。チーム数は予定の 180 チームから 160 チームにとどまったが、関係者の協力により無事に大会を終えることができた。

(カ) 第 62 回名護さくらまつり (令和 7 年 1 月 25 日・26 日)

今年も、友好都市の皆様をはじめ多くの市内関係者にご参加をいただきオープニングセレモニーからパレード、仮装行列等で大通りを盛り上げた。

また、お祭り広場特設ステージでは二見情話大会等が行われ祭り全体が盛りあがった。さくらの開花状況も 7 分咲きとなり 2 日間の来場者数 169,812 万人となった。

(キ) ふるさと納税 PR 活動

PR 活動では、5 月に開催された OKINAWA 祭り (東京) を皮切りに、名護スペシャルデー (北海道) など、県内外含め 21 件のイベントに名護さくらの女王を派遣し 4,350 部のパンフレットを配布した。配布したパンフレットには名護市の観光情報やふるさと納税の商品が記載されているため、名護市の認知度向上及びふるさと納税の周知に繋げることができた。

令和 6 年度：件数 7,335 件 寄付額 810,506,100 円対前年比 152%の増加となった。

増強の要因として、ふるさと納税のポータルサイトの増加に伴い、分類別に増加している、宿泊施設での館内利用券、果物 (マンゴー、パイナップル)、お酒 (泡盛、オリオンビール) 等で、全体の 80%を占める割合となった。

(ク) 沖縄北部地域観光協会連携

北部広域市町村圏事務組合を中心に北部地域観光協会連携による、北部地域の資源を最大限に活かした観光地経営が可能となり市町村や産業間連携による観光関連産業の成長に寄与する目的で地域連携型 DMO 設立に向けて準備にとりかかっている。

(ケ) 観光客誘致プロモーション事業

観光需要回復期に、本市観光産業の回復・発展を図るため、観光関連事業者が連携したセミナーの開催、観光協会サイトのデータ・情報基盤の再整備等をおし、観光客誘致プロモーションを実施した。

①観光事業者向けの誘致セミナー

事業者自身で観光客誘致プロモーションを実践できるスキルを身につけることを
目的に観光事業者向けの誘致セミナーを実施した。

（セミナー）

第1回：観光商品企画・造成

第2回：SNS・Google マイビジネス運用

第3回：オープンデータを活用したプロモーション

（成果）

第1回～第3回のセミナー参加者数は、43 団体/69 名の団体に参加いただいた。
セミナー後のアンケート調査において、94%が今後の仕事や活動に役に立つと
回答しており、「観光コンテンツの重要性を再認知した」、「自社の取り組みと
照らし合わせて足りない点を見つけられた」との意見があり、事業者自身が誘致
プロモーションを実践できるスキルを身につけるセミナーを実施できた。

②名護市観光協会ポータルサイト情報基盤再構築

名護市観光協会では、平成 30 年度に観光ポータルサイト「NAGOMUN」を開
設し、観光客、事業者向けに、様々な情報発信やコンテンツの追加を行ってきた。
しかし、情報量の増加に伴い、「必要な情報が見つけない、最新の情報が反映
されていない」などの意見が増え、情報発信の強化や情報基盤の高度化、デー
タ基盤の再構築が求められていたため、有益情報の提供による観光客の利便性向上、
事業者のマーケティング活動支援を目指し、同ポータルサイト情報基盤の再構築
を行った。

（実施内容 1. 観光客向け情報発信内容の高度化）

各事業者（宿泊施設、観光施設等）の情報について、各事業者が掲載内容（店舗
情報）を変更できる仕組みを構築した。

沖縄観光コンベンションビューローに掲載されている名護市のイベント情報と当
協会サイトを連携させた。

観光施設等のモデルコースを生成する「AI オリジナルルート」を導入した。

（実施内容 2. 観光事業者向け情報発信の強化）

AI オリジナルルートから得た観光客のニーズを収集し分析材料として使用することができる仕組みを構築した。

事業者向けにマーケティング活動に活用できる分析データを提供した。

(成果)

同ポータルサイト情報基盤の再構築を行い、観光客へのリアルタイムの情報発信や AI を活用した周遊プランの提供を行ったことにより、観光客に有益な情報を提供し、利便性向上に繋がっていると考えている。また、各種データから得られた情報を事業者に提供することで、事業者の取り組みに活用できる情報を提供できたと考えている。

③誘致プロモーションツール制作

名護市への教育旅行誘致に繋げるため、市内にある教育旅行向け商品のプロモーションツールを制作し、県外で開催される沖縄修学旅行相談会への参加、キャラバン（旅行会社への訪問）を実施しプロモーションを行った。

(実施内容 1. プロモーションツール制作)

探求学習をベースとした「平和学習」「街なか散策」、「自然体験学習」、「教育旅行2泊3日行程」の動画を制作したことで、名護市で教育旅行が全て完結できることを想起させる内容にした。

(実施内容 2. ツールを活用したプロモーション)

【沖縄修学旅行相談会 in 兵庫】

開催日：令和6年12月19日（木）

開催場所：兵庫県

出展団体数：18団体

相談会来場者数：64名

名護市ブース来場団体数及び人数：学校関係者（2団体3名）、旅行会社（7社9名）

【キャラバン（旅行会社訪問）】

開催日：令和6年12月18日（水）、12月20日（金）

実施場所：大阪府

訪問件数：8社

(成果)

同相談会の参加やキャラバンを実施したことにより、令和7年2月17日(月)には、滋賀県にある私立高等学校の学生90名が平和学習を体験した。

また、キャラバンにて訪問した大阪の旅行会社が、本市で完結する教育旅行商品を取り入れようと動いている。

2 受入体制強化事業

(1) スポーツコンベンション受入支援

北海道日本ハムファイターズ春季キャンプの受入れについて、ファイターズ名護協力会(事務局:名護市商工会)や会員事業者と連携し、球場周辺にてのぼりや花壇の設置作業を行った。名護ファイターズクラブ後援会(事務局:名護市観光協会)として、2月23日のオープン戦の呼びかけを行った。

(2) 修学旅行等における体験学習の推進

名護市における修学旅行の受け入れ人数については、令和6年、宿泊施設93,284人、観光施設161,965人、計255,249人で、対前年比88,935人増となっている。

ハーリー体験参加者数:1,348名(昨年度:1,001名)

まちなか散策参加数:44名(〃:97名)

平和学習参加数:295名(〃:211名)

3 調査・研究事業

【名護市観光振興基本計画について】

第3次名護市観光振興基本計画の策定に向けて、今後の方向性や各施策について、名護市と協議を行った。今後、本計画に沿って、観光協会として名護市をはじめ関係機関と連携し、各施策を実施していく。

【リゾートウェディングの誘客受入強化】

令和5年度に沖縄リゾートウェディング協会より、ロケスポットを登録することによりインセンティブを受けることができる「ロケーション届け出事業」の提案があり、名護市の各支部区長にロケスポットの提供依頼を行い、調査を実施した。しかし、沖縄リゾートウェディング協会の事務局再編成があり、事務局としての機能が整った際に改めて「ロケーション届け出事業」について、話を進めることとなっているため、令和6年度同事業については、進捗がない現状である。

【観光大使のあり方について】

令和6年9月26日（木）に名護市産業支援センターにおいて、名護さくらの女王（観光大使）の方針検討外部委員会を開催し、委員の意見を聴収した。委員からは「50年続いた名護さくらの女王の歴史を考えると財産であり、無くすべきではない」「さくらの女王を残しつつ新たに現在の風潮にあった親善大使を追加で作った方が良い」等の意見があった。同委員会での意見を踏まえて観光協会理事会、評議会において、名護さくらの女王を今まで通り継続していくことで決定した。

4 各種イベントの開催並びに主管事業

- ① 2024 北海道日本ハムファイターズ エスコン応援ツアー【5/20～23 実施】
- ② 第46回名護市長杯争奪全島ハーリー大会【8/4 実施】
- ③ 第51代名護さくらの女王選考会【12/14 実施】
- ④ 第62回名護さくら祭り【1/25・26 実施】

5 各種イベント等への協力

- ① 第30回羽地ダム鯉のぼり祭り【同祭り実行委員会主催 5/4・5 実施】
協力内容：観光協会ホームページを活用した周知
- ② 第45回名護夏祭り【商工会青年部主催 7/27・28 実施】
協力内容：観光協会ホームページを活用した周知
- ③ 第34回名護市青年エイサーまつり【同祭り実行委員会主催 9/17 実施】
協力内容：観光協会ホームページを活用した周知、実行委員会委員、名義後援
- ④ 第36回ツール・ド・おきなわ【ツール・ド・おきなわ協会主催 11/11・12 中止】
協力内容：観光協会ホームページを活用した周知、のぼりの設置・撤去作業
- ⑤ 北海道日本ハムファイターズ春季キャンプ【2/1～2/26 実施】
協力内容：のぼりの設置・撤去作業、オープン戦動員、選手の施設訪問

6 観光美化事業

- ① 名護漁港構内のクリーン活動【8/5 実施】
- ② 名護市街地周辺クリーン活動【1/27 実施】
- ③ 名護さくら育樹活動への協力
名護・さくらの会が実施している「名護さくら開花促進プロジェクト」へ参加し、10月と3月の年2回、名護城南口公園や幸地川沿いの草刈りや施肥作業を実施した。

Ⅱ【収益事業】

(1) 市営駐車場指定管理事業

名護市港駐車場の一般利用について、昨年度件 14,818 件の利用者に対し今年度は 15,579 件で対前年度比 761 件の増加となった。がじゅまる駐車場の一般利用については、昨年度 1,814 件に対し今年度は 1,906 件で 92 件の増加となった。

契約台数についても、港駐車場 40 台・城駐車場 33 台・がじゅまる駐車場 86 台とすべて満車の状況となった。市民をはじめ県内外のお客様が有効的に利用できるよう市街地のマップやパンフレット等を配布し、観光案内機能を備えたサービスの提供で満足度を高める努力を行っている。環境整備についても担当部局と連携し、安心、安全な駐車場の整備に努めている。

Ⅲ【その他】

(1) 賛助会員状況

令和 6 年 4 月 1 日現在：177 社

令和 7 年 3 月 31 日現在：180 社【新規入会：6 社 退会：3 社】

(2) ホームページ訪問状況

月	セッション数 令和 5 年度	セッション数 令和 6 年度	増減
4 月	8,949	9,621	672
5 月	10,103	7,334	△2,769
6 月	14,872	10,797	△4,075
7 月	38,753	22,522	△16,231
8 月	19,131	15,147	△3,984
9 月	14,527	13,645	△882
10 月	12,728	9,561	△3,167
11 月	11,416	8,893	△2,523
12 月	19,901	8,890	△11,011
1 月	39,837	29,834	△10,003

2 月	16,406	10,489	△5,917
3 月	10,397	10,854	457
合計	217,020	157,587	△59,433

全体的に、セッション数が低下した要因として、令和5年度まで実施されていた、全国を対象とした観光需要喚起策「全国旅行支援」や「おきなわ再発見 NEXT」等のコロナ支援によるキャンペーンでアクセスが増加した経緯があり、令和6年度はそれらの施策がなくなったことに伴い、セッション数の減少に影響したと考えられる。令和7年3月のホームページリニューアルに伴い、視認性の向上や観光客への情報発信内容の充実化を図っており、今後、観光客や事業者、市民に対し有益な情報を発信することで、ホームページの訪問数増加を図り、観光入込客数の増加に繋げていく。